

柴孝夫先生 ご経歴・研究業績

昭和 25 年 3 月 神戸市に生まれる。

学歴

昭和 48 年 3 月 甲南大学経営学部経営学科卒業
昭和 51 年 4 月 甲南大学大学院社会科学研究科修士課程経営学専攻入学
昭和 53 年 3 月 同上修了
昭和 53 年 4 月 大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程入学
昭和 55 年 3 月 同上退学

職歴

昭和 48 年 4 月 ひかりのくに株式会社（昭和 50 年 5 月退社）
昭和 55 年 4 月 大阪大学経済学部助手
昭和 56 年 4 月 京都産業大学経営学部講師
昭和 60 年 4 月 京都産業大学経営学部助教授
平成 2 年 8 月 オハイオ州立大学歴史学部 客員研究員（～平成 3 年 8 月）
平成 4 年 4 月 京都産業大学経営学部教授
平成 17 年 4 月 京都産業大学経営学部長・大学院マネジメント研究科長（～平成 21 年 3 月）
平成 22 年 10 月 京都産業大学副学長・理事（～平成 26 年 9 月）
令和 2 年 3 月 京都産業大学定年退職

学会活動

昭和 52 年 11 月 経営史学会会員
昭和 53 年 5 月 社会経済史学会会員
昭和 60 年 1 月 経営史学会幹事（昭和 63 年 12 月まで）
平成 元年 4 月 『経営史学』編集委員（平成 4 年 3 月まで）
平成 5 年 1 月 経営史学会監事（平成 8 年 12 月まで）
平成 9 年 1 月 経営史学会常任理事（平成 12 年 12 月まで）
平成 10 年 1 月 社会経済史学会評議員（平成 30 年 12 月まで）
平成 14 年 12 月 企業家研究フォーラム会員

- 平成 15 年 1 月 経営史学会常任理事（平成 18 年 12 月まで）
平成 17 年 4 月 組織学会会員（令和 2 年 3 月退会）
平成 21 年 1 月 企業家研究フォーラム理事
平成 23 年 4 月 企業と社会フォーラム会員（令和 2 年 9 月退会）
平成 29 年 1 月 経営史学会監事（令和 2 年 12 月まで）

賞罰

- 昭和 63 年 3 月 村尾育英会学術奨励賞

研究業績

【著書】

1. 『日本財閥経営史—三菱財閥』, 共著, 昭和 56 年 9 月, 日本経済新聞社
2. 『第二次大戦と三菱財閥』, 共著, 昭和 56 年 9 月, 日本経済新聞社
3. 『社史の研究』, 共著, 平成 2 年 6 月, 有斐閣
4. *The 100-Year History of Nippon Life—Its Growth and Socioeconomic Setting*, 共著, 平成 4 年 2 月, 日本生命保険相互会社
5. *World War II and the Transformation of Business Systems*, 共編著, 平成 6 年 2 月, University of Tokyo Press
6. *Beyond the Firm-Business Groups in International and Historical Perspective*, 共編著, 平成 9 年 4 月, Oxford University Press
7. 『日本企業の衰退メカニズムと再生化—衰退予測のモデル構築に向けて—』, 共編著, 平成 11 年 2 月, 多賀出版
8. 『京都企業の光と陰—成長・衰退のメカニズムと再生化への展望』, 分担執筆, 平成 12 年 1 月, 思文閣出版
9. 『新修神戸市史 産業経済編 第二次産業』, 分担執筆, 平成 13 年 3 月, 神戸市
10. 『関東の電気事業と東京電力—電気事業の創始から東京電力 50 年への軌跡』, 分担執筆, 平成 14 年 3 月, 東京電力株式会社
11. 『日本経営史の基礎知識』, 共編著, 平成 16 年 10 月, 有斐閣
12. 『マネジメントを学ぶ』, 分担執筆, 平成 20 年, ミネルヴァ書房
13. 『ケースに学ぶソーシャル・マネジメント』, 分担執筆, 平成 22 年, 文眞堂
14. 『講座・日本経営史 4 制度転換期の企業と市場』, 共編著, 平成 23 年, ミネルヴァ書房

【訳書】

1. 『ビッグ・ビジネスの比較経営史—イギリス, アメリカ, および日本』 (M. G. ブラックフォー

- ド著), 共訳, 昭和 63 年 9 月, 同文館
- 『モダン・ビジネス—生成・展開の国際比較』(M. G. ブラックフォード著), 共訳, 平成 12 年 5 月, 同文館

【論文】

- 「川崎造船所における明治 30 年代の拡大運動」, 単著, 昭和 53 年 11 月, 『甲南論集』第 6 号
- 「大正期企業経営の多角的拡大志向とその挫折—川崎造船所の場合」, 単著, 昭和 53 年 12 月, 『大阪大学経済学』第 28 巻第 2・3 号
- 「金融恐慌時における経営戦略の破綻とその整理—川崎造船所の場合」, 単著, 昭和 55 年 4 月, 『経営史学』第 15 巻第 1 号
- 「昭和恐慌下における企業整理の進展—川崎造船所の再整理をめぐって」, 単著, 昭和 56 年 2 月, 『大阪大学経済学』第 30 巻第 2・3 号
- 「戦間期三菱造船の漁船市場への進出—彦島造船所の経営をめぐって」, 単著, 昭和 58 年 9 月, 『京都産業大学論集』第 13 巻 1 号
- 「不況期の二大造船企業—大正後期の三菱造船と川崎造船所」, 単著, 昭和 58 年 10 月, 『経営史学』第 18 巻 3 号
- 「A Comparative Study of the Development of Managerial Structure of Two Japanese Shipbuilding Firms : Mitsubishi Shipbuilding and Engineering Co. and Kawasaki Dockyard Co. 1896-1927」, 単著, 昭和 61 年, Kesaji Kobayashi and Hidemasa Morikawa ed. *Development of Managerial Enterprise*, University of Tokyo Press
- 「川崎造船所和議事件と平生夙三郎—整理委員としての活動をめぐって」, 単著, 昭和 61 年 3 月, 京都産業大学『経済経営論叢』第 20 巻第 4 号
- 「昭和戦前期三菱重工の自動車製造事業—再進出とその挫折」, 単著, 昭和 61 年 3 月, 『大阪大学経済学』第 35 巻第 1 号
- 「戦時体制期における財閥系重工業企業の株式所有の構造—三菱重工業株式会社の場合」, 昭和 61 年 3 月, 『大阪大学経済学』第 35 巻第 4 号
- 「川崎造船所と松方幸次郎—破綻の経営構造的背景」, 単著, 昭和 62 年 3 月, 『神戸の歴史』第 17 号
- 「川崎造船所と平生夙三郎—再建活動の理念をめぐって (1) (2)」, 単著, 昭和 63 年 3 月・9 月, 京都産業大学『経済経営論叢』第 22 巻第 4 号・第 23 巻第 2 号
- 「戦時体制下の企業防衛戦略—大阪商船山下汽船による株式肩代わりと川崎造船所の対応」, 単著, 昭和 63 年 7 月, 『経営史学』第 23 巻第 2 号
- 「造船事業—川崎造船所の初代社長松方幸次郎」, 単著, 平成 4 年 11 月, 『日本の「創造力」8 消費時代の開幕』, NHK 出版

15. 「戦時期の航空機製造企業の経営動向（1）—川崎航空機工業と戦時の経営—」, 単著, 平成4年12月, 京都産業大学『経済経営論叢』第27巻第3号
16. 「川崎造船所における航空機部門独立問題と平生鈞三郎」, 単著, 平成5年3月, 甲南大学経営学会編『経営史学の課題』（『甲南経営研究』第33巻第1・2合併号）
17. 「ワシントン軍縮条約の締結と日本の造船業—三菱造船の場合—」, 単著, 平成6年3月, 『京都産業大学論集』第24巻第4号
18. 「日本の生産システムの形成」, 共著, 平成7年10月, 『日本経営史講座4』（岩波書店）,
19. 「敗戦直後の日本造船業についての覚え書き」, 単著, 平成7年12月, 京都産業大学『経済経営論叢』第30巻第2・3号
20. 「昭和恐慌前後の三菱造船—1932年の赤字決算の意味」, 単著, 平成8年3月, 『京都産業大学日本文化研究所紀要』創刊号
21. 「地場産業の再生化とその 戦略—燕市の金属洋食器・ハウスウェア工業の場合」, 共著, 平成8年3月, 京都産業大学『経済経営論叢』第30巻第4号
22. 「大阪商船の展開とグループの形成—創業から大正期にかけて」, 単著, 平成9年4月, 作道洋太郎編『近代大阪の企業者活動』, 思文閣出版
23. 「財閥の生成, そして解体—三菱財閥のコーポレート・ガバナンス」, 平成10年4月, 伊丹敬之・加護野忠男・宮本又郎・米倉誠一郎編『日本企業の経営行動1 日本の経営の生成と発展』, 有斐閣
24. 「日本における重工業企業による子会社形成の歴史的特質についての一考察—三菱造船～三菱重工の事例をめぐって—」, 単著, 平成11年3月, 京都産業大学『経済経営論叢』第33巻第4号
25. 「明治前期の事業衰退観—九岐 晰著『破産予防法』をめぐって」, 平成11年9月, 京都産業大学論集『社会科学系列』第16号
26. 「戦前期日本における企業合併の一事例—昭和鋼管と日本鋼管の合併をめぐって—」, 単著, 平成11年10月, 『京都産業大学日本文化研究所紀要』第4号
27. 「荘田平五郎の言論活動とそこに現れた事業観—『東洋経済新報』での日清戦争後の所感をめぐって」, 単著, 平成11年9月, 関西学院大学『経済学論究』第52巻特別号
28. 「平生鈞三郎と社会奉仕」, 単著, 平成11年11月, 甲南学園編『平生鈞三郎一人と思想』（安西敏三編『現代日本と平生鈞三郎』, 平成27年, 晃洋書房, に改訂収録）
29. The Evolution of the 'Japanese Production System': Indigenous Influences and American Impact, 共著, 平成12年5月, Jonathan Zeitlin and Gary Herrigel ed. *Americanization and its Limits-Reworking US Technology and Management in Post-War Europe and Japan*, OXFORD University Press
30. 「平生鈞三郎の松方幸次郎観の形成過程—第一次世界大戦終結前後を中心にして—」, 単著, 平成12年10月, 『奈良県立商科大学研究季報』第11巻第2号

31. 「小平浪平と松下幸之助—技術志向型事業展開と市場志向型成長」, 単著, 平成 13 年 4 月, 佐々木聡編『日本の企業家群像』, 丸善
32. 「戦後初期の造船業における生産工程改善への試み—三菱神戸造船所の事例をめぐって—」, 単著, 平成 14 年 6 月, 『京都マネジメント・レビュー』第 1 号
33. 「事業創造への意欲—「京都企業」のパイオニア」, 単著, 平成 15 年 3 月, 佐々木聡編『日本の企業家群像 II』, 丸善
34. 「戦時期の川崎重工業—設備投資と経営の動向」, 単著, 平成 16 年 12 月, 『大阪大学経済学』第 54 巻第 3 号
35. 「ソーシャル・アントレプレナー教育の現状と可能性: 米国ビジネススクール HBS と Haas の事例から」, 共著, 平成 21 年, 『京都マネジメント・レビュー』14
36. 「白石元治郎と西山弥太郎—自立経営の追求—」, 単著, 平成 23 年, 佐々木聡編『日本の企業家群像 III』, 丸善
37. 「The Current state of tourism education and research in Japan」, 共著, 平成 25 年, 『京都マネジメント・レビュー』22
38. 「スタインウェイの技術革新とマーケティングの変遷」, 共著, 平成 25 年, 『京都マネジメント・レビュー』23

【研究ノート】

1. 「日本の社史刊行状況と長尾文庫の位置」, 単著, 昭和 62 年 3 月, 『社会科学研究年報』(龍谷大学) 第 17 号
2. 「昭和鋼管の経営と内的葛藤—川崎造船所整理の一断面」, 単著, 平成 3 年 3 月, 『京都産業大学論集』第 20 巻第 1 号
3. 「『京都市域における産業の活性化』に関する調査」, 共著, 平成 8 年 3 月, 京都産業大学『経済経営論叢』第 30 巻第 4 号
4. 「上場企業の成長・衰退類型の現状分析」, 共著, 平成 9 年 10 月, 京都産業大学『経済経営論叢』第 32 巻第 3 号

【その他】

1. 「明治期大阪卸売物価資料」(1) ~ (5), 共著, 昭和 54 年 6 月・55 年 1 月・3 月・6 月, 56 年 3 月, 『大阪大学経済学』第 29 巻第 1 号・第 2 号・第 3・4 号・第 30 巻第 1 号・第 4 号
2. 「造船企業の社史についての一考察」, 単著, 昭和 62 年 10 月, 『経営史学』第 22 巻第 3 号
3. 「1988 年の日本経営史」, 共著, 平成 2 年 4 月, 『経営史学』第 25 巻第 1 号
4. 「『企業の衰退メカニズムの分析と再生化のための戦略』に関する調査」, 共著, 平成 8 年 12 月, 京都産業大学『経済経営論叢』第 31 巻第 34 号

- 5.『マテリアル日本経営史—江戸期から現在まで』, 分担執筆, 平成11年3月, 有斐閣

【書評】

- 1.「高柳暁著『海運業の経営と技術』」, 昭和59年1月, 『経営史学』第18巻第4号
- 2.「日本経営史研究所『会社史総合目録』」, 単著, 昭和63年4月, 『経営史学』第23巻第1号
- 3.「高橋泰隆著『中島飛行機の研究』」, 単著, 平成元年10月, 『経営史学』第24巻第3号
- 4.「小川功『企業破綻と金融破綻・負の連鎖とリスク増幅のメカニズム』」, 単著, 平成14年8月, 『彦根論叢』第337号
- 5.「宇田川勝・佐々木聡・四宮正親編『失敗と再生の経営史』」, 平成17年11月, 『書齋の窓』平成17年11月号

【辞書・辞典】

- 1.「松方幸次郎」・「中島知久平」, 平成6年10月, 朝日新聞社刊『朝日日本歴史人物事典』
- 2.「岩崎弥太郎」・「経営ナショナリズム」, 『経営学大事典』第2版, 平成9月, 中央経済社
- 3.「石原広一郎」, 「金子直吉」, 「川崎正蔵」, 「平生鈞三郎」, 「松方幸次郎」, 「村田省蔵」, 「山下亀三郎」, 「山下太郎」, 『日本大百科全書』, 昭和59年～平成6年, 小学館, 「三菱財閥」, 同改訂版

【監修】

- 1.『ビジュアル日本経営史 日本の企業家群像 5 技術志向型事業展開と市場志向型成長 小平浪平（日立製作所） / 松下幸之助（松下電器産業）』, 平成11年, 丸善出版
- 2.『ビジュアル日本経営史 日本の企業家群像 II 6 事業創造への意欲—「京都企業」のパイオニア 立石一真（オムロン） / 塚本幸一（ワコール）』, 平成15年, 丸善出版
- 3.『ビジュアル日本の経済・経営発展③「戦時経済から復興経済」1937～1954』, 平成17年, 丸善出版
- 4.『ビジュアル日本経営史 日本の企業家群像 III 3 自立経営の追求—製鉄経営者 川崎製鉄 西山彌太郎 日本鋼管 白石元治郎』, 平成22年, 丸善出版